

目 次

I . 総括研究年度終了報告	
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化 -----	3
相場 節也 (東北大学病院・皮膚科・教授)	
II . 分担研究年度終了報告	
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： 免疫毒性データの集積、国際標準化へ向けてのvalidation試験の 計画、国際会議の企画、進行 -----	89
小島 肇 (国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター・ 安全性予測評価部・室長)	
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： 免疫毒性評価試験法 Multi-ImmunoToxicity assay の国際 validation へ 向けての検討 -----	122
中島 芳浩 (産業技術総合研究所・健康工学研究部門・ 研究グループ長)	
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： 免疫毒性評価試験法 (Multi-ImmunoTox assay) 国際標準化へ向けた 評価法の検討 -----	134
安野 理恵 (産業技術総合研究所・バイオメディカル研究部門・ 主任研究員)	
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： 免疫毒性評価試験法 Multi-ImmunoToxicity assay の 判定アルゴリズムの検討 -----	142
大森 崇 (神戸大学医学部附属病院・臨床研究推進センター・ 特命教授)	
化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： IL-1 Luc assayクライテリアの設定ならびにプロトコルの作成 ---	147
木村 裕 (東北大学病院・皮膚科・助教)	
III . 研究成果の刊行に関する一覧表 -----	200
IV . 倫理審査等報告書の写し -----	203